

アレクサンドロ・カルボナーレ氏クラリネット特別講義

1. 日 時： 2026年9月18日(金) 17:00～20:15(5・6限)

2. 場 所： 0-101教室 聴講： 学内のみ他聴講可

3. 対象学生(必修)： 管楽器(クラリネット)専攻・コース 生

4. 講 師 紹 介： アレクサンドロ・カルボナーレ 氏

Alessandro Carbonare

1967年イタリア生まれ。

リヨン歌劇場管を経て、フランス国立管弦楽団首席を15年間務めた後、2003年よりローマのサンタ・チェチーリア国立管弦楽団の首席奏者。

1990年ジュネーヴ、1991年プラハ、1991年トゥーロン、1991、1992年ミュンヘン、1992年パリなどあらゆる国際コンクールで入賞。

スイス・ロマンド管、スペイン国立管、オスロ・フィル、ミュンヘン放送管、ベルリン放送響などとソロ・スト共演。ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響などへ首席奏者として客演。ムーティ、小澤征爾、デュトワ、マズア、スヴェトラノフ、ハイティンクなどと共演。

アバド指揮ルツェルン音楽祭におけるモーツァルト協奏曲の収録(ドイツ・グラモフォン)は、2013年第51回レコードアカデミーアワード獲得。ハルモニア・ムンディ、JVC 日本ビクターなどに録音、衛星放送SKYではカルボナーレを特集した番組「Notevoli」が話題を呼んだ。

L.カヴァコス、P.ズーカーマン、A.ロンクイッヒ、ラン・ラン、M.アルゲリッチなどと共演。ジャズ、クレズマー音楽にも傾倒し、パキート・デリヴェラ、ルイ・スクラヴィス、エンリコ・ピエラヌンツィ、ステファノ・ボラーニなどの著名ミュージシャンと共演している。ベネズエラのエル・システムでも意欲的な活動を行う。

サンタ・チェチーリア国立アカデミア、キジアーナ音楽院サマーコース教授。

5. 講 義 概 要：

<公開レッスン>

下村 玄登(Gento SHIMOMURA) (大学院 2年)

ドビュッシー/第一狂詩曲

Claude Debussy / Première Rhapsodie

佐藤 優羽(Yu SATO) (大学院 2年)

ウェーバー/協奏曲第1番第1楽章

Carl Maria von Weber / Concerto No. 1 in F minor, Op. 73 - I. Allegro

澤谷 涼風(Rina SAWATANI) (大学院 1年)

ブラームス/ソナタ第1番第1楽章

Johannes Brahms / Sonata No. 1 in F minor, Op. 120 No. 1 - I. Allegro appassionato

石川 愛(Ai ISHIKAWA) (大学 4年)

モーツァルト/協奏曲第1楽章

Wolfgang Amadeus Mozart / Clarinet Concerto in A major, K. 622 - I. Allegro

Piano 坂口航大(Kota SAKAGUCHI)